



キク編



病害虫注意報 2022年10月号

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

アザミウマ類の発生に注意！

気温が下がると、アザミウマ類の発生が多くなります。また、各種病害虫（ハダニ類・チョウ目・アブラムシ・白さび病）の最適な温度・湿度環境にもなりますので、多発が懸念されます。**薬剤散布は発生前に予防的散布を行いましょう！**



被害

- ▶新芽が加害されると芯止まりになる。
- ▶花弁への被害はかすり状の食痕。
- ▶ウイルス病を媒介する。

アザミウマ類

対策

- ▶早期発見
- ▶圃場周辺の除草



ハダニ類

被害

- ▶葉表にカスリ状の小斑点
- ▶高温乾燥条件にて多発生

対策

- ▶圃場内で乾燥する場所を把握する。
- ▶葉裏にしっかり薬剤散布する。

今月のおすすめローテーション！

地域の防除事例を基に作成しています(輪菊栽培)。品種、栽培条件によっては薬害が発生する場合がありますためご注意ください。さらに、展着剤・葉面散布剤等を加用する場合もご注意ください。

時期	RAC	対象病害虫	薬剤名	使用量・希釈倍数	使用時期	回数
定植時	P02	白さび病 予	inochioキクツチャ粒剤	6~9kg/10a (作条土壌混和)	定植時	1回
生育初期	UN, M03	白さび病 予	ジマンダイセنفロアブル	500~800倍	-	8回
	6	アザミウマ類	アフーム乳剤	1,000~2,000倍	発生初期	5回
消灯時	3	白さび病・うどんこ病 予・治	アンビルフロアブル	1,000倍	発病初期	7回
	23	アザミウマ類・アブラムシ類 ハダニ類	inochio セイレーンフロアブル	2,000倍	発生初期	3回
発蕾時	11	白さび病 予・治	inochioオペラフラワー乳剤	2,000倍	発病初期	3回
	30	アザミウマ類・ハダニ類 オタバコガ・ハモクヨトウ	グレーシア乳剤	2,000倍	発生初期	2回
破蕾時	19	白さび病 予・治	ポリオキシシAL水溶剤	2,500倍	発病初期	8回
	6	アザミウマ類・ハダニ類	アグリメック※	500倍	発生初期	5回

対象害虫によって使用の希釈倍数が異なる場合があります。ラベルの確認をしてから使用してください。

※花き類・観葉植物登録

光合成能力UP!

ファイトオーツ

どぶ漬け 1,000倍
葉面散布1,000倍 7~10日おき散布
植物本来の力を活性化☆

- ▶活着の改善
- ▶抵抗性誘導物質の向上
- ▶毛細根の充実



肥料登録 生第83241号

光合成能力UP!

ファイトマジック

1,000倍 葉面散布
キレートマグネシウム+各種微量元素

- ★葉にテリ・ツヤ・厚みUP!
- ★日照不良時の代謝の向上!



肥料登録 生第87201号